

西神ニュータウン研究会 会報

第214号 2021年12月

■第214回例会記録

- ・日時 2021年11月13日(土) 14:00~16:00
- ・場所 ユニティ・セミナー室3 ・参加者27名
- ・テーマ 「古代の明石地域」～畿内と播磨の狭間で～
- ・講師 渡辺伸行氏 氏 (前奈良文化財研究所客員研究員
元神戸市埋蔵文化財センター所長)

■旧石器時代～縄文時代

- ・ハンター達が大型獣を追ってこの地域にも足跡を残す。
(伊川谷・1万数千年前の尖頭器が出土)
- ・縄文時代後期まで西区内では殆ど人の生活痕跡がない。
- ・照葉樹林が繁る西日本は縄文的な暮らしに不向きな環境
(狩猟・採集・栽培の時代)

■弥生時代 今から2500年前から

1. 日本文化と日本的思考の起源 稲作農耕の開始

- ・明石地域の人々は、四国から稲作農耕文化を携え、淡路を經由して渡海し、住み着いた可能性が大。(玉津町新方遺跡、玉津田中遺跡はこの地の核となる拠点集落)

2. ニュータウンの先住民 弥生時代中期・後期の高地性集落

- ・比高40m以上の丘陵上に集落が進出。
- ・中期は、祭祀場所・一時避難場所?・交易の場? 後期は、堀を巡らし防御性を高める。(中期:学園都市の頭高山遺跡、西神NTの西神50・65地点オリト山遺跡など)

- *弥生時代前期～中期中頃は、四国・淡路・紀伊との関係深いが、中期終末以降、西区の集落は近畿地域の社会と連動する動きに巻き込まれる。

■古墳時代へと続く道 広域的な政治統合への道

1. 邪馬台国時代の地域の首長墓 3世紀 明石川上流・下流域に出現

- ・弥生時代の終末に墳丘墓と呼ぶ地域の有力者(王)の墓が築かれる。この時代は各地で人・モノ交流が活発化。伊川谷町天王山4号墳、平野町堅田神社3号墳など方形墳が丘陵上に出現。明石川流域が2つの政治集団に分立。

2. 倭王権の認知

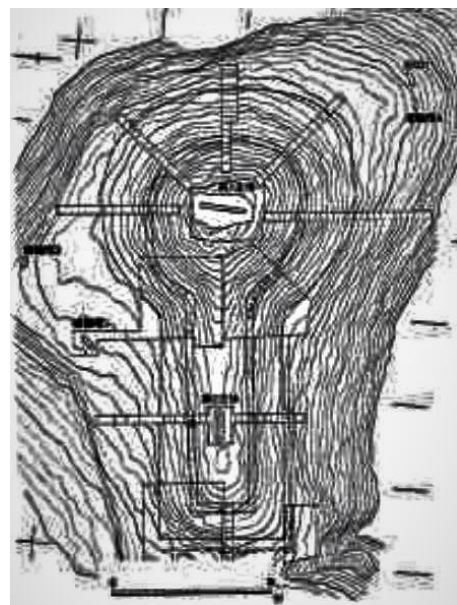
- ・倭王権から認知された西区最初的前方後円墳が登場。(伊川谷町白水瓢塚古墳4世紀中～後半、副葬品から祭政をつかさどる女性首長の姿)



西区伊川谷頭高山遺跡 比高60m



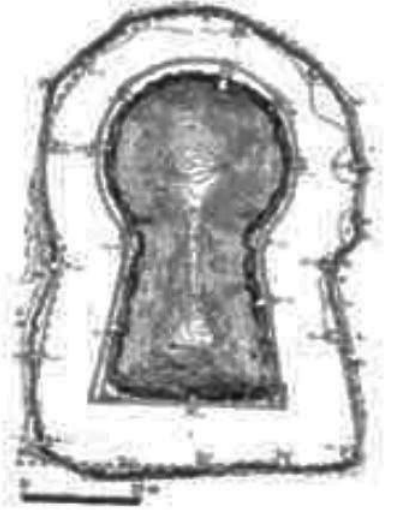
白水瓢塚古墳



3. 巨大古墳成立の余波 4世紀後半～5世紀前半

出合王塚古墳（明石文化博物館より）

- ・垂水区五色塚古墳 規模194m 4世紀後半 明石海峡の交通路に立地。佐紀陵山古墳（奈良市）と同一設計。築造に佐紀政権が関与。4世紀末の大陸進出と関連。野島海人（淡路市）を掌握。
 - ・王塚古墳 全長74m 5世紀前半 台地上の王塚古墳周濠に水を配る技術は、百舌鳥古墳群（堺市ほか）のそれに類似。
- *明石地域の小首長は、大和王権の傘下に組み込まれる。



4. 新文化・技術の流入と後期古墳 首長以外にも古墳造りが拡大

- ・4世紀末に渡来人の来日 須恵器の窯を初めて、出合に築く（出合窯跡）渡来集団に供給。
 - ・地域首長の衰退と大陸文化の影響
 - ・垂水区山田川の両側に、舞子、多聞古墳群を築く。海民の軍事集団の墓か、明石川流域の農民の墓か？
 - ・押部谷から三木における明石川上流の横穴式石室は、志染屯倉の可能性（屯倉ミヤケ 大和王権の支配制度、全国に設定した直轄地）
- *4世紀古墳時代からは、王権の傘下に入る。しかし、王権を主体的に支える勢力の伸長は見られず、海人の技術で王権に奉仕。

■古代（飛鳥～奈良時代）の明石時代

- ・畿内（王権を支える地）と畿外（王権に支配される地）の認識。古代の明石地域は、まさに、その狭間。しかし、王権からの認知度は、王権に奉仕・服従する地としての位置づけであった。
 - ・高丘窯跡群 7～8世紀前半20基 四天王寺の瓦を焼成。蘇我氏が関与。
 - ・太寺廃寺 明石地域の寺院（1群1ヶ寺）郡家（郡の役所）に属する寺か。法起寺式伽藍と推定。60m×50m程度か。塔跡12m×8m（心礎現存）
 - ・吉田南遺跡 奈良時代後期の明石郡衙（郡の役所）の可能性。弥生時代後期～古墳時代後期にかけて明石平野の中心的集落であった。広い空間内に奈良時代の倉庫群・掘立柱建物が存在。文字を記した木簡や墨書土器の存在。
- *7世紀以降は、畿外に位置付けられ、王権の必要を満たす人の供給地・モノの生産地の位置に留まる。
- *奈良時代以降は、古代播磨国府の支配下に置かれた。ただし、畿内と隣接地であり、都人によく知られた地域。

◆意見交換

○西区の古代人の墓は？

←弥生時代後期ごろまで、共同墓。古墳なら見つかるが、奈良時代では、土葬になり、発掘で見つからなくなる。

○古代では、人に伝えるための手段としての「文字」は？

←紀元前は、中国に朝貢していて、通訳がおり、漢字も理解したと考える。卑弥呼時代の3世紀では、文字で書いたものを中国に送り、高官は読み書きができた。古墳の設計は木板に書いていたと思われる。読み書きが広まるのは、7世紀後半以降と思われる。 （文責 橋本）